

\*SAKURADA\*



最近はずいぶんと  
種かくなってきたわね

風がとっても心地良いわ

ほらっ  
見てみ

あちこちに  
花が咲いてるよー

ほんとだ  
可愛いわね

この間まで  
すげえ寒かったのに

だわねー

もうすっかり  
春なんだな



.....

ねえ  
ムーンブルク城に  
寄って行かない？  
ここから  
近かったわよね



あっ



春...かあ



うん  
分ってる

そんな事言ったって  
お前  
あそこは.....



ほ.....

いつもね  
一緒に見に行ってた  
人がいたんだ

お城から  
少し離れた場所  
なんだけど

毎年この時期になると  
綺麗な花を咲かせる  
大きな木があったのを  
思い出して...



それでも良いの



ヤキモチ焼いて  
くれているの？

おっ  
はいっ

もしかして

……

きこ  
とん



めた

めた

ちよっと  
王子……！

その一緒に見に行ってた  
奴って男か？



そんなんじや  
ねーよー！

ぼ……っ  
馬鹿じゃねーの



よきっ

でもね  
想像してるような  
関係じゃないのよ

いつも私に色々と  
教えてくれた……

お兄様みたいな  
存在って言えば良いのかしら

そういう関係だったのよ



お兄様  
今日はどんな事を  
教えてくれるの？

今日は…少し  
趣向を変えてみようか



色々……

色々  
色々



色々  
教えてくれた……



お兄様……？

ちやっ♪

え？  
僕が君に  
男というのを  
教えてあげるよ



お兄様……  
だめっ  
こんな事……

ああああんっ

セツッ  
セツッ



大丈夫だよ  
怖くないよ

あ……





この木よー！

あったわー！



本当に

この場所までは  
襲撃されてなかったのね……！



この木って葉がついてないのに  
花だけがたくさん咲いてるんだね

だーなー  
こんなに珍しい木は  
初めて見たぜ



この木はね  
サクラだっていう  
異国の木よ

春になるとこうやって  
花が満開になるの

そして  
花が散った後になって  
葉が茂るの

へーっ

なんか  
変わった木だなー



じやあさ



思い出の木…か



私とお兄様の…

思い出の木……



……  
思い出の木……

思い出作り  
しようぜ

！





エエエ

さあ……

やだあつ

いきなり  
どうし……

ふに

ふんっ

なにその……



お願いっ  
こんな所でやめてよ……

胸をさけたら  
恥ぢるわよ……

ふに

ふに

ふさけてなんか  
いねーよ

俺達の思い出も  
この場所に  
刻んで行こうぜ

そうすればお前がまた  
ここに来た時に  
俺達の事を思い出さだろ?

何  
言ってるのか...

ばか...

.....

どうして  
私が...

こんな格好しなくちや  
いけないのよう

そんな事  
言うなって

また後ろのサクラが  
良い味出してるんだぜー

外でこんな事して  
まるで変態みたいじゃない

王女!  
最高だぜー!

どうして...



自分で  
触ってみてよ

な...

じゃあ



そっ

そんなはずは...



あれ?

もしかして  
濡れてる?



.....

.....



今日だけ...

だからね...



.....



.....



ただでさえ  
濡く恥ずかしいのに

どうしてそこまで  
しなくちゃいけないのよーっ

俺らにも良い思い出を  
残してくれよーっ



木に手をつけて  
ケツをこつちに突き出して…



それは…  
そうだけど…

だろ？



後ろ…って

俺らにも思い出を  
作ってくれるんじゃないの？



せつかくなら  
後ろ向きが良いなあ

そつちの方が  
興奮するじゃん？



…  
…  
…

そうそう！  
スゲー良い眺め！





















——お兄様



私は今  
2人の王子と一緒に旅をしています

世界の人々と……

この思い出の詰まったサクラを守る為に

必ずハーゴンを倒すから……！

だから 見守っていてね——